

市政の最近のできごとを紹介します。



落合陽一さん、図書館を語る

7月22日、互尊文庫がミライエ長岡内へ移転オープンします。機運醸成に向け、メディアアーティスト・落合陽一さんが講演し、デジタル時代に紙の本を読むことや図書館へ行くことの意義などを語りました。(2月4日)



大雪立ち往生を受け、国に要望

昨年12月の大雪による国道での大規模な車両立ち往生を受け、磯田市長が国土交通省北陸地方整備局に緊急要望書を提出。大型車の待避場所の確保や消雪パイプの増強、除雪体制の強化などを求めました。(2月9日)



学生力でアフリカの課題解決へ

長岡工業高等専門学校やJICA(国際協力機構)などがものづくりの力でアフリカの社会課題解決に取り組み、日本オープンイノベーション大賞内閣総理大臣賞を受賞。地元企業や大学との連携も評価されました。(2月15日)



農業DXへ、水田にセンサー設置

Iotセンサーの活用で作業の効率化や水田情報のデータ化を図るため、農業者への説明会を開催。参加者はスマートフォンでセンサーによる水位や水温の情報を確認し、水田管理の負担軽減などに期待を寄せていました。(1月27日)



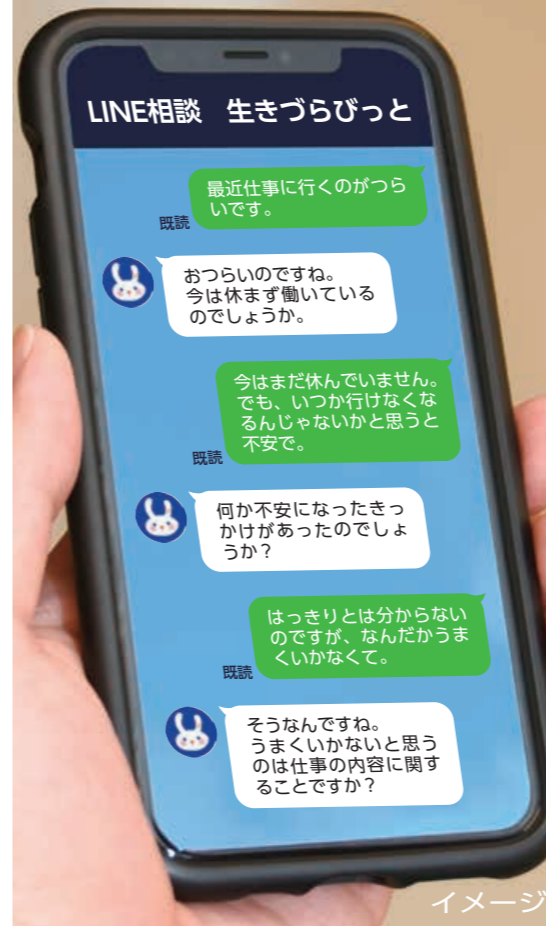
市町の担当や、東京電力の担当者など、約60人を前にオンラインで、約1時間、説明を行いました。

市町村研究会 大雪時の原子力災害避難 実効性向上を強く要求

原子力安全対策室 ☎39・2305

県内全30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会(代表幹事・長岡市長)」は2月7日、実務担当者会議を開催しました。磯田市長は今冬の大雪による車両の立ち往生などを踏まえ、国に「大雪時の避難行動やそれに伴う被ばくリスクの科学的根拠、停電時の情報伝達の方法など、実効性ある対策をしっかりと示してほしい」と要望。各市町村からも同様の意見や要望が出されました。国からは「避難の実効性向上のためには住民の理解を得ることが重要であり、そのためにできることは何でもやる」との説明がありました。

また、東京電力からは、安全対策工事や改善措置活動への取り組み状況、柏崎刈羽原発3号機の審査書類の誤りなどに関する説明があり、各市町村は発電所の安全管理の徹底を強く求めました。今後市民の安全・安心のため、原子力安全対策にしっかりと取り組みます。



SNS相談で民間団体と連携 自殺ゼロへ支援手厚く

健康課 ☎39・7508

市は2月17日、人間関係や生活苦などさまざまな悩みを抱える人からSNSなどで相談を受けるNPO法人自殺対策支援センターライフリンクと連携協定を締結しました。同法人がLINEや電話で受けた相談のうち、自殺などのリスクがある場合には市へ連絡。保健師の対面による支援につなげるなど、相談体制の充実を図ります。環境の変化が大きい春先は、悩みや不安を抱えやすい時期です。一人で抱え込まず、気軽にご相談ください。

ライフリンクが悩みを受け付け

- LINE相談 生きづらびっと
- 電話相談 0120-061-338

情報提供

高リスク かつ 本人の同意

市保健師が対面相談

あなたの悩みに寄り添います

◎不安やストレスの対処方法などの相談 (平日午前8時30分～午後5時15分)

- ・健康課 ☎39・7508
- ・各支所地域振興・市民生活課 (栃尾支所は市民生活課)

★精神保健福祉士、保健師による相談会も

日 3月22日(水)午後2時～4時 場 さいわいプラザ (各支所からオンライン可) 定 2人(先着)

申 3月13日(月)まで ※毎月1・2回程度開催

◎悩み相談 (年中無休・24時間受け付け)

- ・新潟県こころの相談ダイヤル ☎0570・783・025
- ・新潟いのちの電話 ☎025・288・4343

命の大切さ、学ぼう

「いのちとこころのケア～ここ・から～」

日 3月26日(日)午後2時～3時30分

場 アオーレ長岡 内 講演会、寄席

出演=瀧川鯉津さんほか 申 イベント

ホームページ(右)、林家こん平

事務所 ☎025・222・1118で



※日・場などの略字の見方は12ページへ

新型コロナウイルスワクチン ※2月17日(金)時点の情報です

3月末までに接種を!

健康課 ☎39・2383

国は、新型コロナウイルスワクチンの無料接種を3月31日(金)までとしています。接種券を持っている人は早めの接種を検討してください。

なお、国は4月以降も引き続き無料で実施することを検討中です。方針が決まり次第、市政だよりや市ホームページなどでお知らせします。

65歳以上の人に接種券と同時配布したタクシー割引券の使用期限は、3月31日です。

健康課 ☎39・2267

3/13(月)から

マスクの着用は個人の判断に

健康課 ☎39・7508

今後はマスクの着用が個人の判断となります。重症化リスクが高い人が混雑した場所に行くときなどは、引き続き注意が必要です。なお、本人の意思に反して着脱を強いることがないように配慮しましょう。

◎次の場合はマスクを着用しましょう

- ・医療機関や高齢者施設を訪問するとき
- ・混み合う電車やバスなどに乗るとき
- ・発熱やせきなどの風邪症状があるとき

